

既存試料・診療情報提供に関するお願い

当院は長崎大病院が行っている下記の研究に、既存試料・情報を提供する機関として協力しており、対象となる手術目的で入院する糖尿病患者さんの血糖値の情報を提供しています。

オンラインを用いた双方向性連携を活用した 県内医療施設での糖尿病治療標準化の評価

この研究の対象になる可能性がある方で、試料や診療情報等を研究目的のために提供、利用されることを希望されない場合は、下記の『9.お問い合わせ先』へご連絡下さい。

提供、利用について拒否を申し出ても不利益を受けることは一切ありません。

1、研究の目的と意義

糖尿病患者数の爆発的な増加により、患者数に対する糖尿病専門医が不足しており、糖尿病治療の地域格差が問題となっています。そこで、長崎大学病院は、糖尿病専門医がいない離島などの医療施設であっても、長崎大学病院と同じ様な糖尿病治療を提供できるように、長崎県全体で糖尿病治療を標準化する取り組みを開始しました。当院もその取り組みに参加することになりました。本研究では、当院に手術目的で入院する糖尿病患者さんの血糖値を、取り組みの前と後で比較することで、この取り組みが有効かどうかを評価します。取り組みの有効性が明らかになり、参加する医療施設が増えることで、長崎県内の糖尿病治療の地域格差は改善し、糖尿病の重症化および透析の予防にも繋がる可能性があると考えています。

2、対象となる患者さん

2025年3月31日までに当院に手術目的で入院し、当院での研究開始時および開始から半年後と1年後に、手術の前日から手術の7日後までの8日間、1日4回の血糖測定を行なった糖尿病患者さん5名ずつ

3、研究の方法

- ①長崎県全体での糖尿病治療標準化のために、当院と長崎大学病院が共同で当院専用の院内血糖管理マニュアルを作成し、それに従った入院患者の糖尿病治療を行う
- ② 当院に入院する糖尿病患者の血糖値が、①により改善するかを評価する

4、長崎大学病院に提供する情報